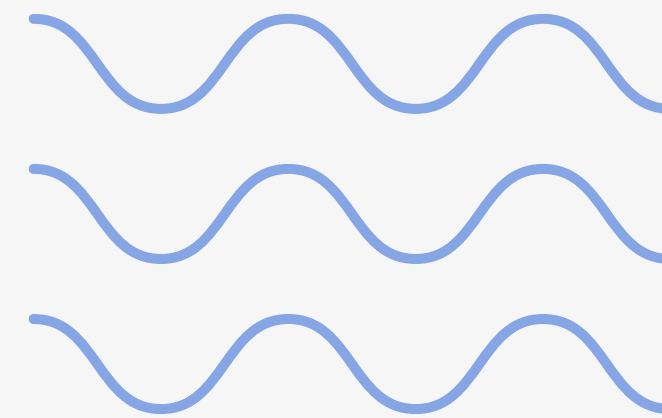


公益財団法人大阪府学校給食会

令和7年産精米試食会

大阪赤十字会館3階

2025年10月16日（木） 午後2時～



令和7年産取扱い銘柄



○学校給食専用銘柄米

5銘柄（★表記）

○一般銘柄米

4銘柄



学校給食専用銘柄米とは



＜条件＞

- 1.原料玄米を産地 J A から直接供給できるお米（米穀業者間取引米は不可）
- 2.産地の圃場またはカントリーエレベータ等を学校給食用として特定、分別できること
- 3.産地 J A が独自で行う各種安全検査を学校給食供給用米で実施できること
- 4.不作時においても安定的に供給が可能であること（1000トン以上供給可能な銘柄）
- 5.大阪府学校給食会が計画する学校給食における食育推進事業に参画できること



上記の条件を満たした銘柄かつ供給実績等ふまえて銘柄の選考。
また、当給食会が全ての産地へ赴き、圃場の生育状況、関係施設、
安全管理状況の確認を行い選定しております。

（平成22年産米より学校給食専用銘柄米制度を採用）

安全・安心の取り組み



大阪府学校給食用のお米における検査について

公益財団法人大阪府学校給食会では、安全で安心なお米を供給するために次の検査を実施しています。

区分	検査項目	内 容	検査回数	検査対象
安全管理	残留農薬	残留農薬等に関するポジティブリスト制度に基づき検査を実施	新米供給までに1回	玄米
	重金属	ヒ素・鉛・カドミウム	年2回	玄米

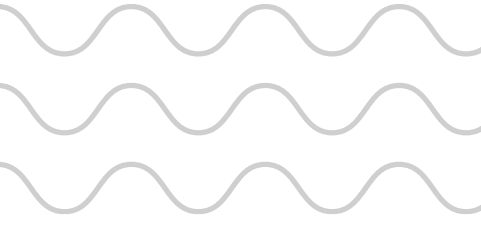
品質管理	DNA	銘柄の確認と管理	年2回	玄米・精米
	鮮度判定	供給精米の鮮度管理	毎月	精米
	食味検査	タンパク・アミロース含有率	年2回	精米
	品質規格	学校給食用精米品質規格検定（8項目）	毎月	精米

精米加工	原則、精米後一週間以内のお米を納品しています。		
精米業者への立ち入り検査	公的検査機関が立ち入りをし、原料玄米・生産状況・関係帳票・原料在庫について検査を実施しています。(おおよそ隔月)		
	給食会職員による立ち入りをし、設備等の確認、仕入伝票の確認、衛生状態の確認を行っています。(年1回以上)		

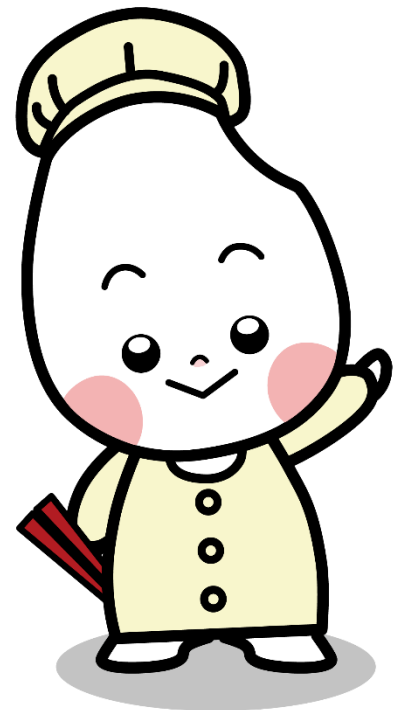


※検査結果はHPに掲載いたします。



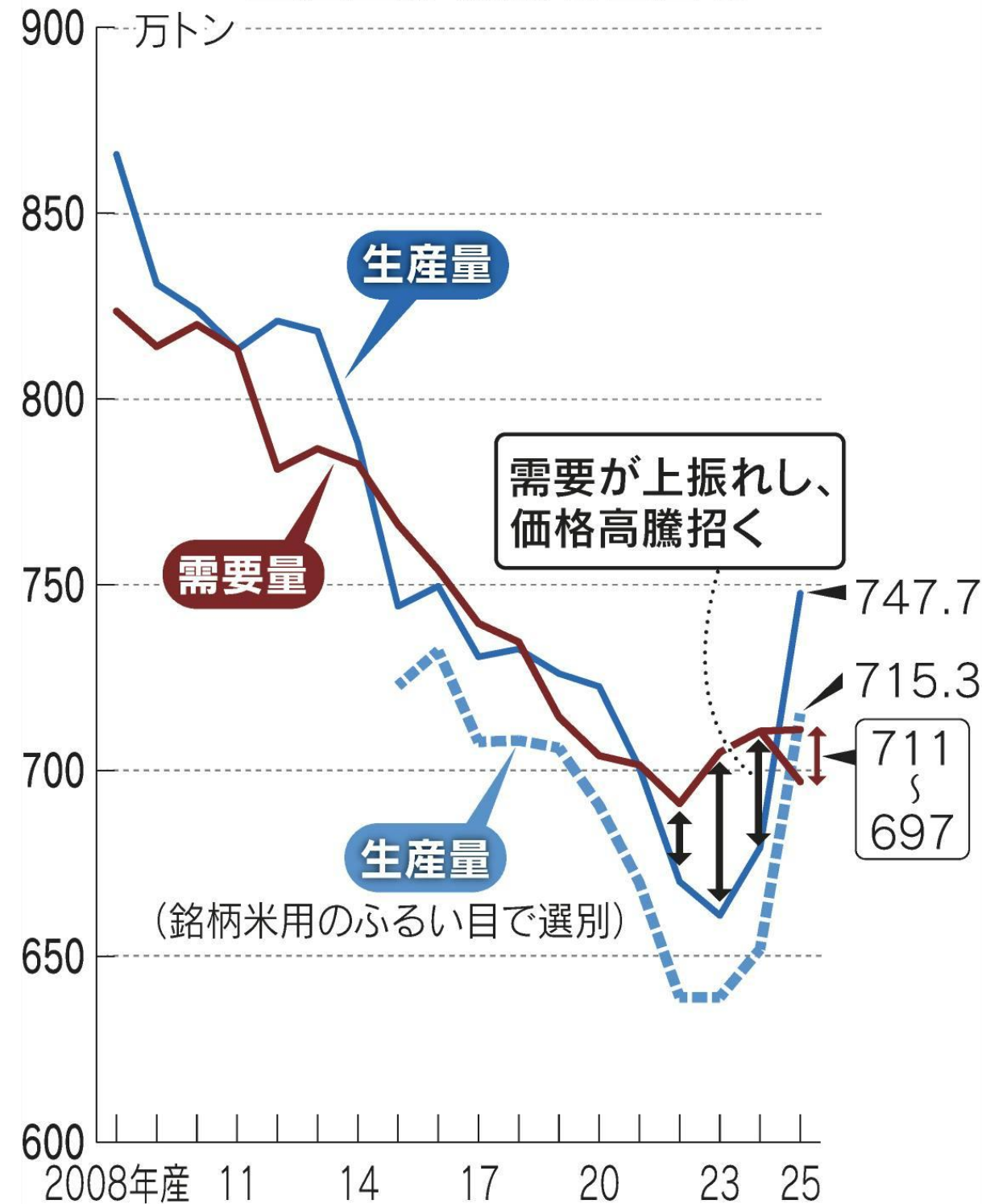


米の情勢について



令和7年産米 生産量

2025年産の主食用米は
生産量が需要を上回る



(注) 25年産の生産量は9月25日時点の予想、需要量は
見通し。出所は農林水産省

※日本経済新聞より

令和7年産米、生産量10%増の747万トンに

○2025年産の主食用米の生産量が前年比で10.1%増の747万7000
トンになる見通しだと発表(農林水産省10月10日発表)

⇒16年産の749万6000トン以来となる9年ぶりの水準にまで増加

○作付面積が136万7000ヘクタールと前年比で8.6%増加

⇒飼料用米や麦・大豆などから、主食用米をつくる生産者が増加



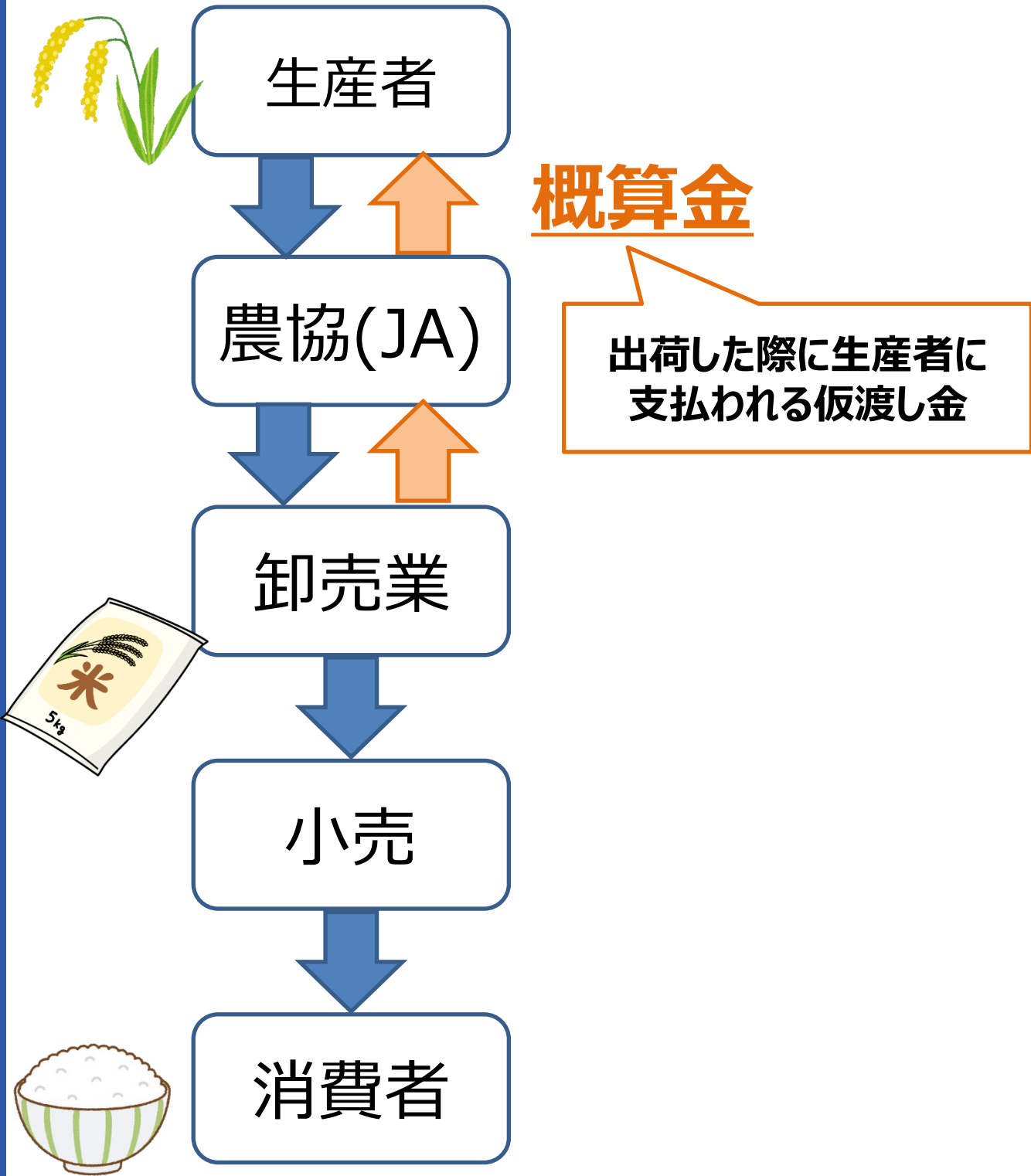
令和7年産米については、需要量が生産量を上回る見込み

米の価格低下には結びつかないのか？



令和7年産米 概算金

米が消費者に届くまで



○各産地の令和7年産概算金（8月時点） ※60kgあたりの金額

産地	銘柄	概算金（円）	前年比上げ幅（円）
宮城	ひとめぼれ	28,000	11,500
岩手	ひとめぼれ	28,000	11,000
秋田	あきたこまち	28,300	11,500
茨木	コシヒカリ	30,000	12,000
栃木	コシヒカリ	28,000	11,700
新潟	一般・コシヒカリ	30,000	13,000

※日本農業新聞より

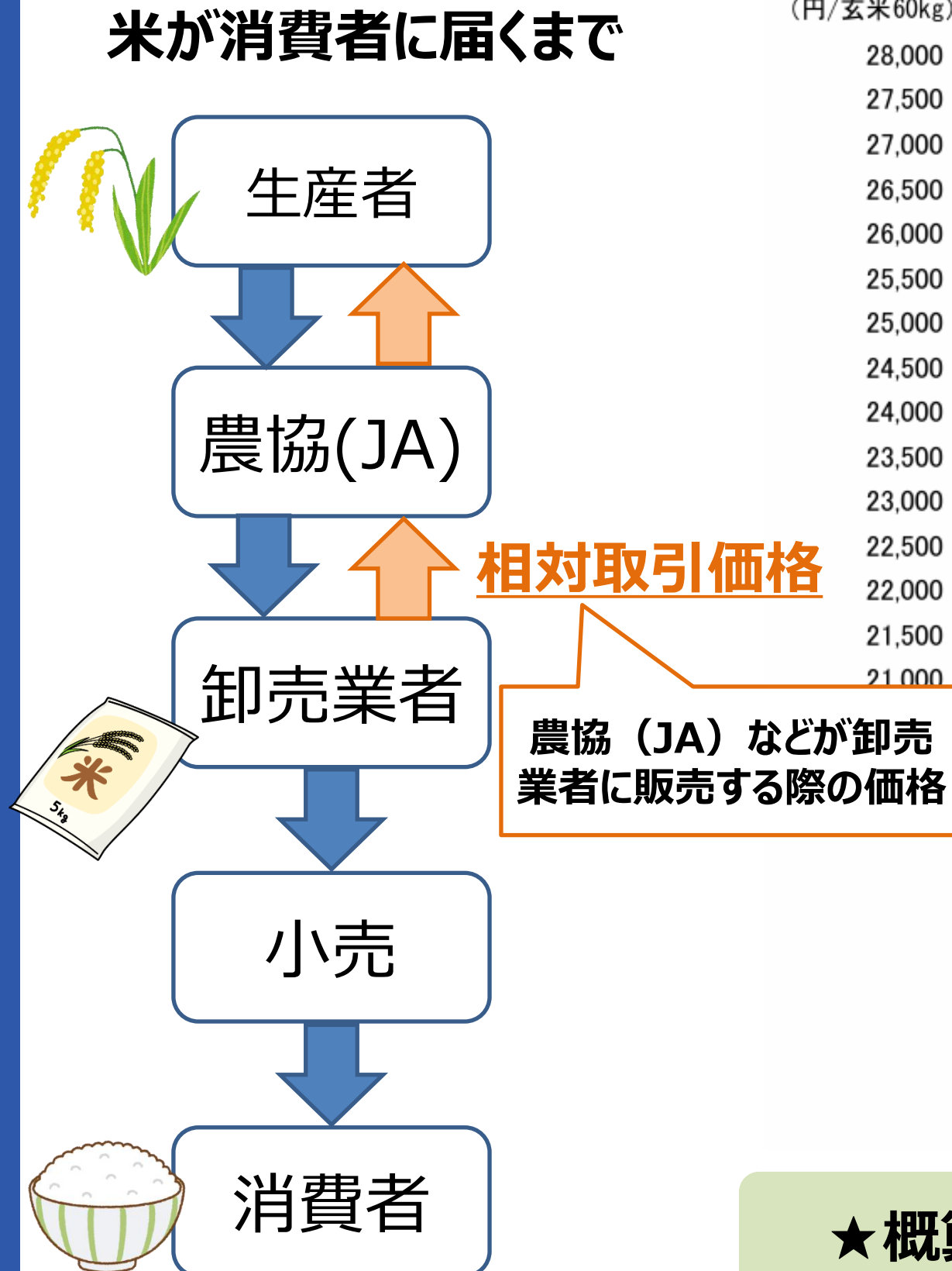
○各産地の令和7年産概算金（10月時点）

産地	銘柄	当初額（円）	追加払い後（円）	上げ幅（円）
岩手	ひとめぼれ	28,000	31,000	3,000
秋田	あきたこまち	28,300	30,000	1,700
栃木	コシヒカリ	28,000	31,000	3,000
新潟	一般コシヒカリ	30,000	33,000	3,000

さらに各産地で追加払いに踏み切る動きが相次いでいる

相対取引価格

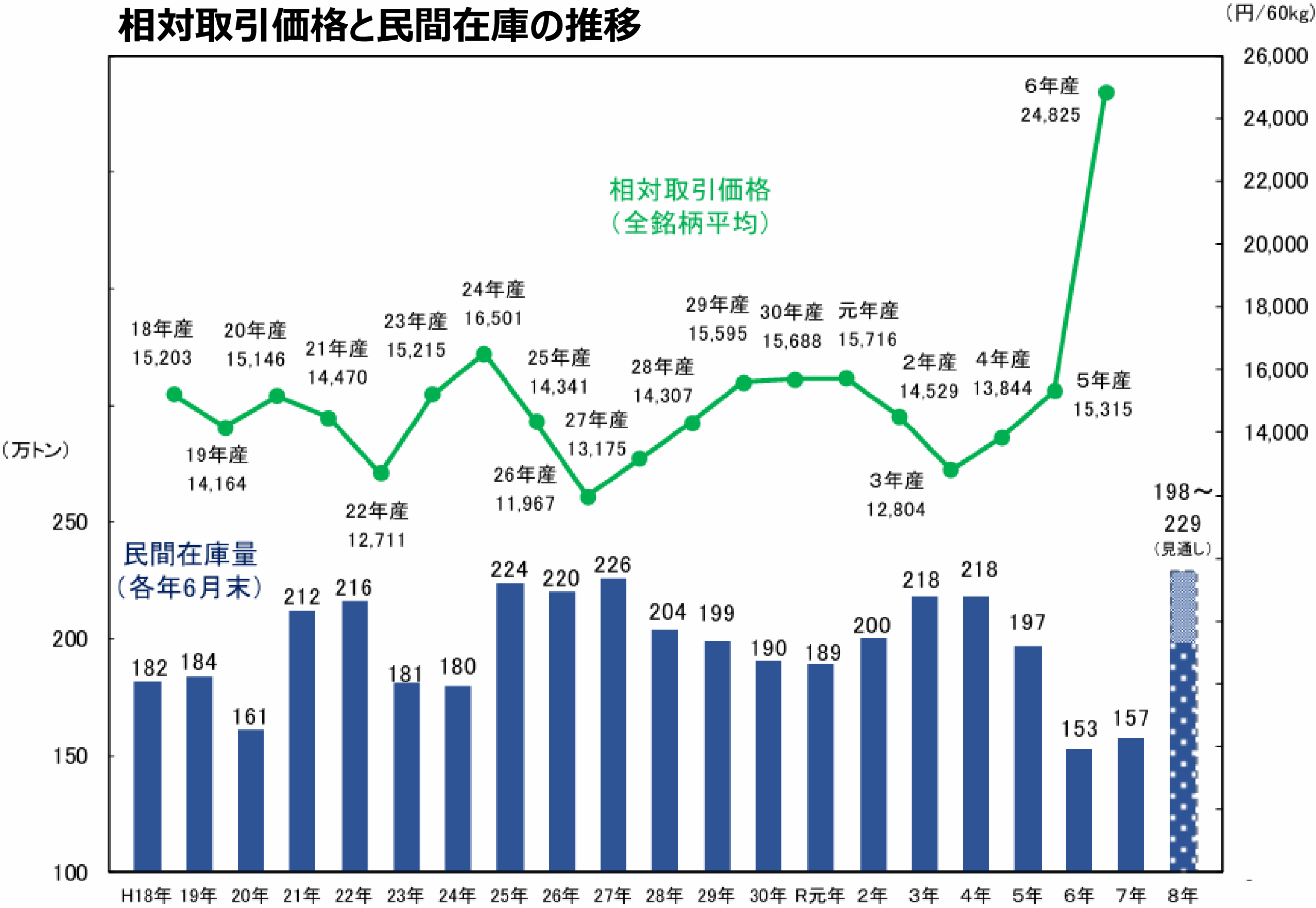
令和6年産米の相対取引価格（税込）（全銘柄平均価格）及び相対取引数量の推移



★概算金の上昇により、令和7年産の相対取引価格についても間違いなく上昇する

相対取引価格 参考資料

相対取引価格と民間在庫の推移

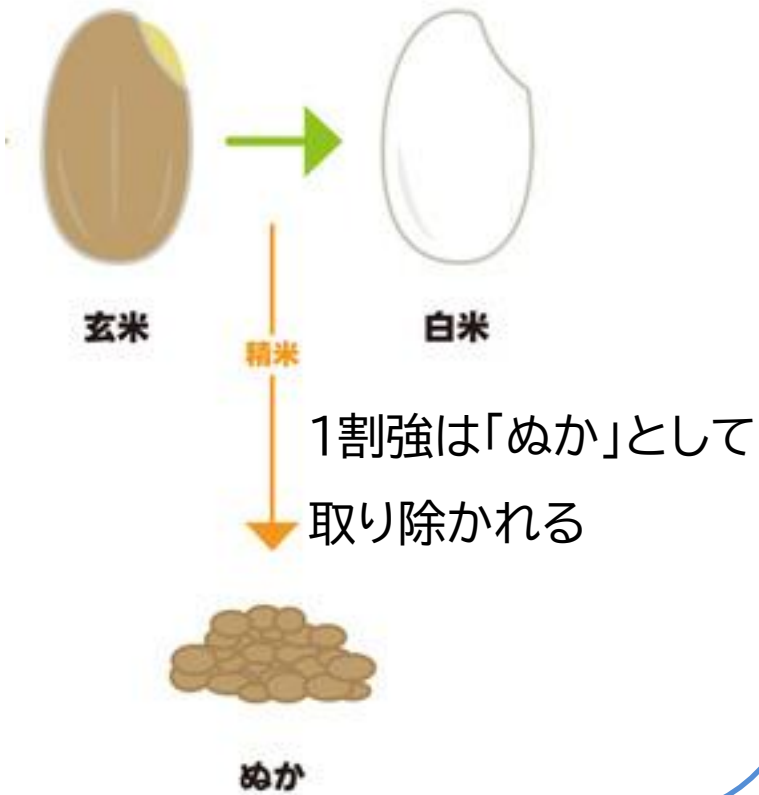


※農林水産省資料より

米穀業界における民間在庫の判断基準として・・・

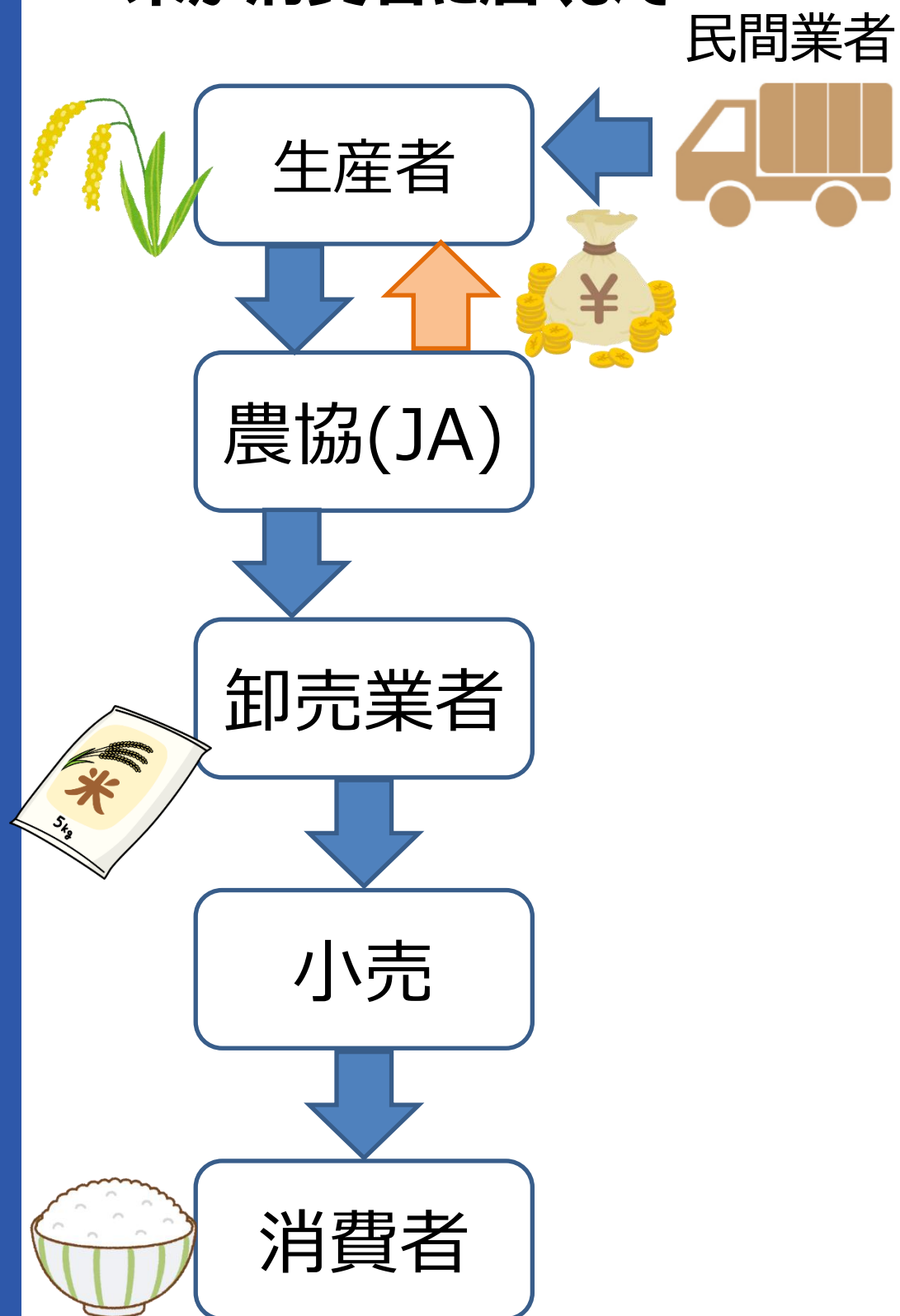
- ・200万トン以上
- 余っている
- ・180万トンを下回る
- 需給がタイト

単位は「玄米」



概算金上昇の要因

米が消費者に届くまで



作付面積・生産量が増加したのに米が集まらない



○民間業者との集荷競争

⇒今年についても、集荷業者が直接生産者から、高値で買取ような動きがある

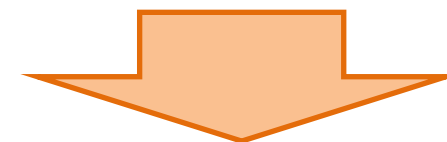
○農家保有米の増加

⇒生産者独自で米を販売・譲渡（縁故米）しているのではないか

○生産コストの上昇

⇒肥料代・燃料代など生産コストが上昇している

農協（JA）としても、お取引先への出荷数量を守りたい



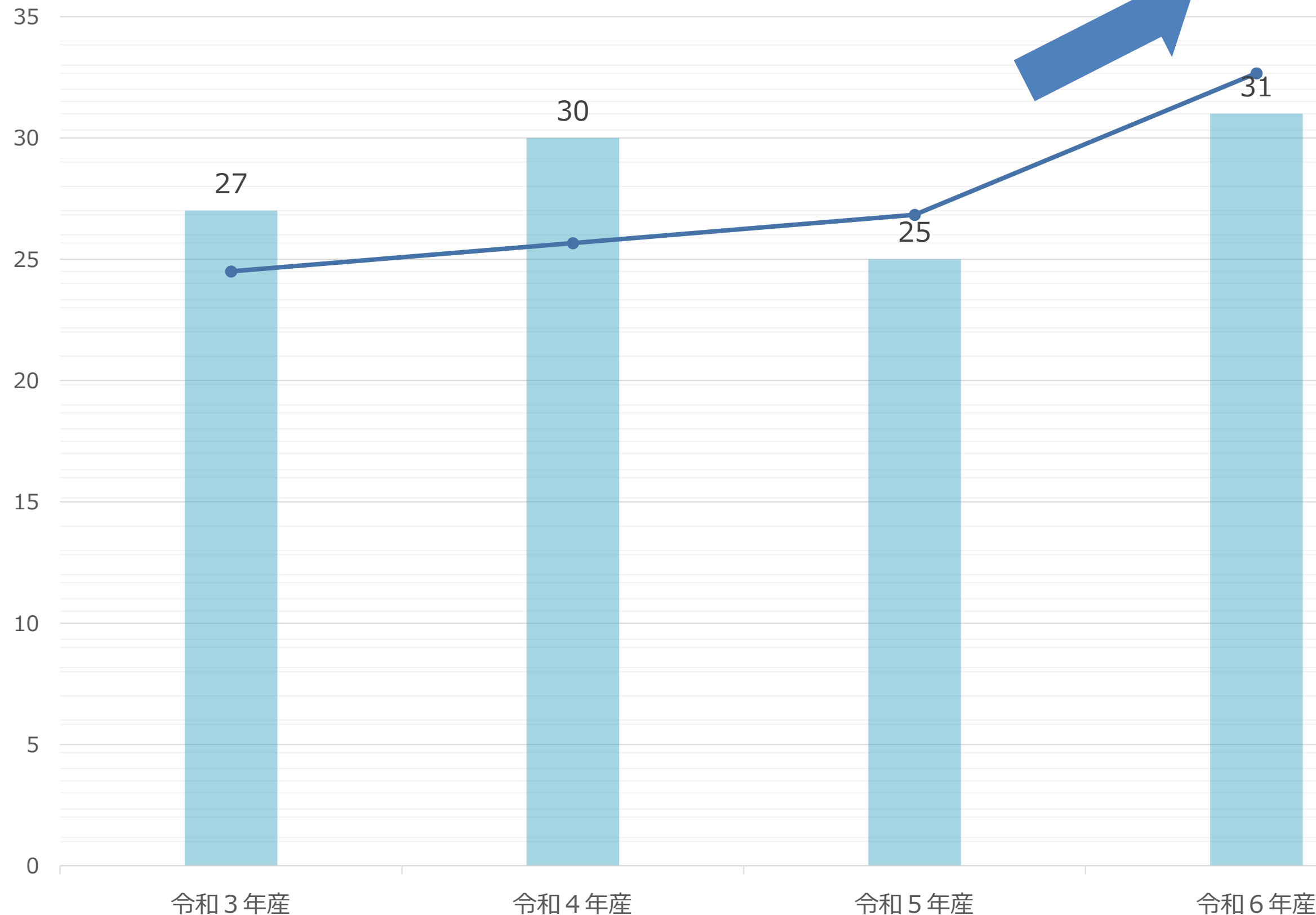
各地で民間業者に買い負けない金額を生産者にご提示

給食用精米の供給状況と価格調整金について



精米需要量申請と採用市町村

■採用市町村 ●年間需要量申請(トン)



＜供給量増加要因＞

- ・独自で米調達ができなくなり、購入申込が増えた。
- ・令和7年に複数給食センターの稼働が開始した。 など

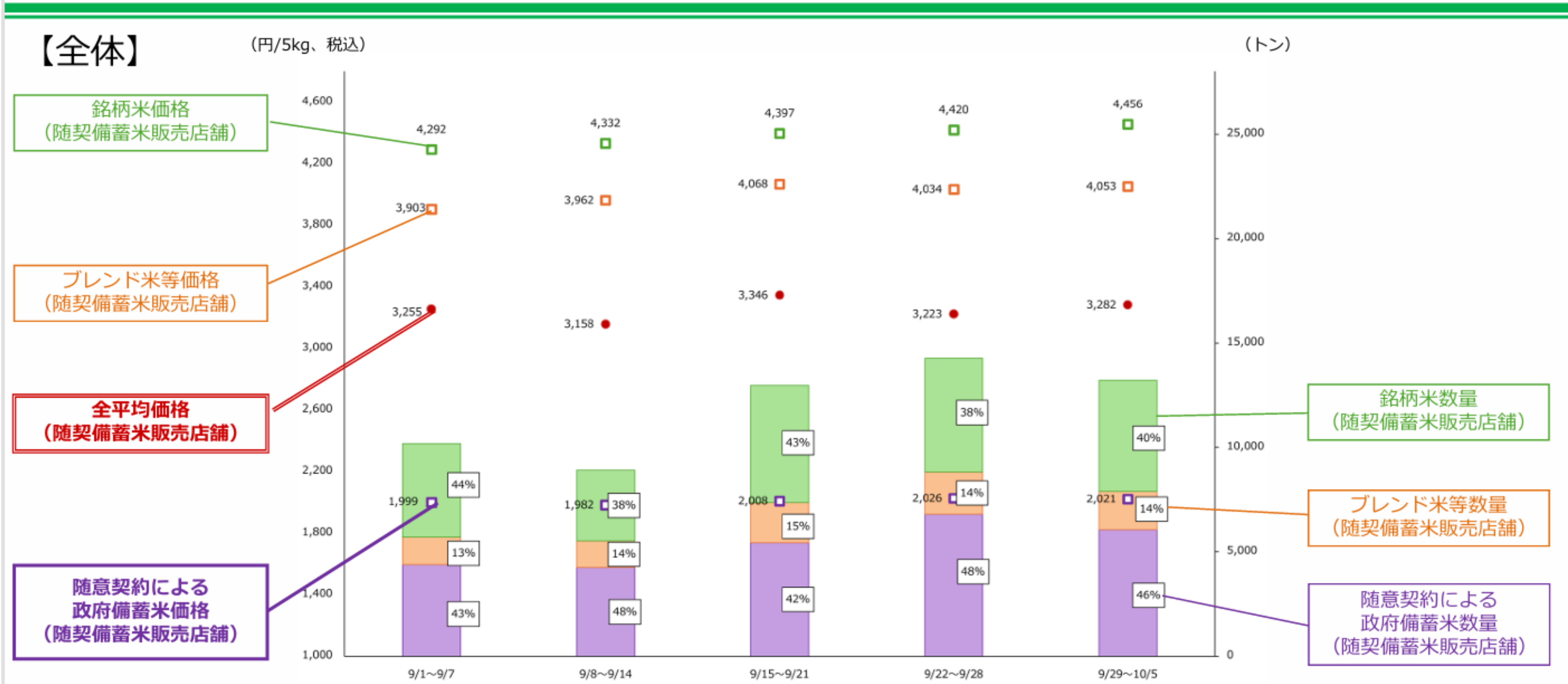
公益財団法人として・・・

供給数量の増加により、収入予算を上回った収益に関しては収支相償により当会から購入の市町村・学校へ**価格調整金で還元**

・米の価格が下がったわけではない。
・価格調整金については毎年還元されるものではありません。

精米販売価格について 参考資料

随意契約による政府備蓄米販売店舗における精米の販売価格・販売数量



備蓄米の販売価格を含めての平均価格のため、価格が下がっているように見えるが、各分類分けで見ると下がりではない

供給までの日程等について



スケジュールと提出書類について

○提出書類

①令和7年産大阪府学校給食用精米申込書

※月別に予定数量を「kg単位」で記入ください。

②令和7年産大阪府学校給食用精米発注ご担当者確認書

※いただいたメールアドレスに発注書の送付します。

10/16(木)

提出書類の配布

※提出書類のデータは
10/17中に給食会
HPからダウンロードで
きるようにします。

10/30(木)

提出書類①・②
提出期限

11月初旬

令和7年産米用
発注書の送付

11月13日(木)

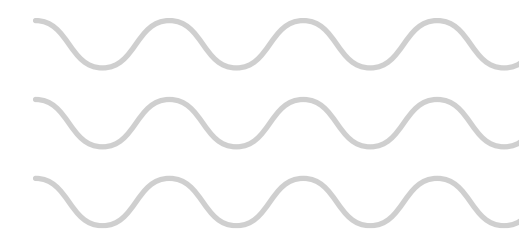
12月需要分
発注書締切日

11月下旬～

令和7年産新米
供給開始



供給までの日程等について



銘柄の変更依頼について

※各銘柄には供給数量上限がございます。銘柄の変更依頼いただく可能性がございます。

○下記を優先して、銘柄の割り当てをいたします。

- ・同銘柄での継続的なお申込み市町村を優先
- ・申込書の先着順（メール可）

あらかじめご了承くださいませよう、お願いいたします。